4

式の計算:文字式の利用

式による説明、等式の変形

名前

年 組 番

/16問

園 ○式による説明

文字式を使って、整数の一般的な性質や図形に関する問題を説明することができる。たとえば、m, n を自然数とすると、偶数は 2m, 奇数は 2n-1 と表される。このことから、偶数と 奇数の和は 2m+2n-1 となる。

2m+2n-1 =2(m+n)-1で、m+n は整数なので、2(m+n)-1 は奇数になる。

②等式の変形

たとえば、x、y についての等式を変形して、x から y を求める式を求めることを、等式を y について **解く** という。このとき、項の 符号 を変えて他方の辺へ移す 移項 などを行う。

- - (1) この自然数を,x,yを使って表しなさい。

(10x+y)

(2) 十の位の数字と一の位の数字を入れかえた数を、x、yを使って表しなさい。

(10y + x)

- (3) (1)の数と(2)の数の和は、11 の倍数になります。(1)の数と(2)の数の和をx、y を使った式で表し、変形すると、11(の形となり、11 の倍数であることが説明できます。 にあてはまる式を書きなさい。
 - \bullet (10x+y) + (10y+x)
 - =10x+x+y+10y
 - =11x+11y
 - =11(x+y)

x+y

)

関 2 次の問いに答えなさい。

(1) 底面の半径がrcm, 高さがacm の円柱があります。この円柱の側面積がabcm 2 であるとき, r を a, b を使って表しなさい。ただし、円周率は π とします。

●円柱の側面積は, $2\pi r \times a$ で, これが ab なので,

 $2\pi r \times a = ab$ ($r = \frac{b}{2\pi}$) 両辺を a でわって、 $2\pi r = b$ したがって、 $r = \frac{b}{2\pi}$

(2) 4x-3y=8 を、x について解きなさい。

(3) $S=\frac{1}{2}\ell r$ を、rについて解きなさい。

- 図 **3** 右の図のカレンダーで、ある数(この場合は 17)をとり囲むような 4 個の数を考えます。中央の上の数(この場合は 10)をx としたとき、4 個の数の和が 4 の倍数になることを説明します。次の問いに答えなさい。
 - (1) 4個の数の和を、xを使って表しなさい。

日 月 火 水 本 金 土 I 2 3 4 5 6 7 8 9 IO II I2 I3 I4 I5 I6 I7 I8 I9 20 2I 22 23 24 25 26 27 28 29 30 3I

(4x+28)

- (2) (1)を変形して、4の倍数であることがわかるような形で表しなさい。
 - 4x+28=4(x+7)

解法テク 4の倍数であることを示すには、4との積の形で表せばよい。(
$$4(x+7)$$
)

図 4 角錐の体積 V は,底面積を S,高さを h としたとき, $V = \frac{1}{3} Sh$ で表すことができます。この式を,h について解きなさい。

$$\bullet V \times 3 = \frac{1}{3}Sh \times 3$$

$$3V = Sh$$

$$h = \frac{3V}{S}$$
(
$$h = \frac{3V}{S}$$
)